

RoboRobo コンプライアンスチェックの AI 機能を大幅アップデート チェック業務の負荷となるノイズ情報を最大 60%削減 ～多様化する企業リスク対応を AI で支援し、負荷軽減と安定した調査品質を両立～

オープングループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高橋 知道）の子会社であるオープン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：石井 岳之、以下「オープン」）は、企業向けコンプライアンスチェックサービス「RoboRobo コンプライアンスチェック」において、AI 機能の大幅アップデートを実施したことをお知らせします。

これにより、調査担当者の確認負荷となるノイズ情報を従来比の約 50～60%削減することが可能になりました。

今回、AI 機能のアップデートを実施した背景として、近年、生成 AI をはじめとした AI 技術の進化スピードが加速度的に高まっており、企業のリスク管理・コンプライアンス領域においても、より高度かつ迅速な情報収集・判断が求められていることが挙げられます。

RoboRobo コンプライアンスチェックは、サービスリリース当初より AI 技術を活用し、反社・コンプライアンスチェック業務の効率化を支援してきました。今回のアップデートでは、AI の解析精度・判定ロジックを大幅に強化し、従来以上に高精度なリスク判定を実現しています。

■アップデートの概要

今回の AI アップデートにより、以下の機能強化を実現しました。

- AI によるリスク情報の抽出精度向上
- ノイズ情報の除外精度向上
- ネガティブ情報の文脈理解強化

これにより、従来の網羅性は維持しながら、調査担当者の確認負荷となるノイズ情報を約 50～60%削減し、より効率的かつ安定したコンプライアンスチェック業務を実現します。

■AI 時代のコンプライアンスチェックに向けた進化

近年では、海外制裁・PEPs（Politically Exposed Persons＝政治的な影響力が高い重要な公的地位にある人物）・レピュテーションリスク・匿名流動型犯罪グループ（トクリュウ）など、企業を取り巻くリスクは複雑化しています。

一方で、確認すべき情報量は増加し続けており、人手だけによる調査には限界があります。

RoboRobo コンプライアンスチェックでは、AI を活用することで、

- 調査品質の平準化
- 調査時間の短縮
- 属人化の解消

を支援し、上場企業基準のコンプライアンスチェック運用を、より手軽に実現できる環境を提供してまいります。

■今後の開発予定

RoboRobo コンプライアンスチェックでは、さらなる業務効率化・判断支援を目的として、以下の機能開発を予定しています。

➤ 同姓同名判断機能

AIによって同姓同名候補の関連性や一致可能性を自動分析し、調査担当者の確認負荷を軽減します。

➤ 不動産登記取得機能

不動産登記情報の取得・確認をワンストップで実現し、不動産取引や入居審査などの業務効率化を支援します。

■RoboRobo コンプライアンスチェックについて



RoboRobo コンプライアンスチェックは、反社チェック・コンプライアンスチェック・与信チェックを効率化するクラウドサービスです。

インターネット検索、新聞データベース、海外制裁・PEPs データベース「World-Check」、官報破産者情報などを横断検索し、調査業務を効率化します。

また、AIを活用したリスク分析・サマリー生成機能により、調査工数削減と品質向上を支援しています。

詳細はサービスサイト：<https://roborobo.co.jp/lp/risk-check/> をご覧ください。

■サービスに関するお問い合わせ先

オープン株式会社 RoboRobo 事業部 マーケティング部

E-mail：info@roborobo.co.jp

Web サイト：<https://roborobo.co.jp/>

【会社概要】

■オープン株式会社 (<https://open.co.jp/>)

- ・本社所在地：東京都港区西新橋 3-3-1 KDX 西新橋ビル 3 階
- ・設立：2013 年 7 月
- ・代表者：代表取締役執行役員社長 石井 岳之
- ・資本金：3,000 万円
- ・事業内容：スマートロボット（RPA、AI）を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業、アウトソーシング事業、デジタルマーケティング、オンライン広告事業